

2021年7月9日

福島県知事 内堀雅雄 様

日本共産党福島県議団
団 長 神山 悦子
副団長 宮川えみ子
幹事長 宮本しづえ
副幹事長 大橋 沙織
政調会長 吉田 英策

東京五輪・パラリンピックの中止と 無観客開催を求める緊急申し入れ

オリンピック・パラリンピックの観戦について、政府などでつくる5者協議は8日、首都圏の1都3県は無観客に、その他本県をはじめとした地方の競技については観客上限を決め有観客とすることを決定しました。それを受け本県では、あづま球場での観客上限を7,150人とし、「学校連携観戦」事業は実施することを知事が発表しました。

しかし本県では、南相馬市が市独自の非常事態宣言を発令する状況となっており、感染拡大の危険性は軽視できません。ソフトボールや野球の予選が観客を入れて行われれば、県内外からの人流増加により、新たな変異株が持ち込まれる恐れや感染爆発も危惧されます。

また「学校連携観戦」は6日までに8割以上が辞退していますが、48校3,684人の児童・生徒がいまだ観戦予定となっています。児童・生徒を感染リスクにさらすことはあってはなりません。

新型コロナの感染リスクを踏まえ、東京五輪・パラリンピックは中止し、ワクチン接種、PCR検査の拡大、十分な補償などのコロナ対策に集中すべきです。よって以下、緊急に申入れます。

記

- 1、政府に対し、東京五輪・パラリンピックの中止を要請すること。
- 2、県は感染防止の観点から、あづま球場の無観客開催を国に求めるとともに、県として決断すること。
- 3、児童・生徒の「学校連携観戦」は中止すること。

以上